

ダイズ紫斑病に効果のある新規薬剤の使用法

【1 新規薬剤2剤の使用法】

- (1) 新規薬剤ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤（商品名：ニマイバー水和剤）はダイズ紫斑病防除効果が高く、1回散布で十分な効果が得られます（図1）。
- (2) 新規薬剤ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤（プロポーズ顆粒水和剤）は、1回散布では効果が不十分なため、他剤との組み合わせによる2回散布体系としてください（図1）。
- (3) これまでに評価した薬剤を含めた、ダイズ紫斑病に対する各種薬剤による防除体系は表1の通りです。

表1 ダイズ紫斑病防除薬剤の防除効果と薬剤防除体系（水和剤、乳剤、フロアブル剤）

種類名 (商品名)	系統名	希釈倍数 ・使用量	紫斑病に 対する 防除効果	薬剤防除体系
アゾキシストロビン水和剤 (アミスター20フロアブル)	QoI 殺菌剤	2000～ 3000倍	◎	1回散布で十分な効果が期待できる。
ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤 (ニマイバー水和剤)	N-フェニル カーバメート +MBC 殺菌剤	1000倍	◎	
イミベンコナゾール水和剤 (マネージDF)	DMI 殺菌剤	3000倍	○	他剤との組み合わせによる2回散布が望ましい。
ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤 (プロポーズ顆粒水和剤)	CAA 殺菌剤 +クロロニトリル	1000倍	(○)	
イミノクタジナルベシル酸塩水和剤 (ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)	ビスグアニジン	1000倍	○	1回目散布と2回目散布の散布間隔は10日程度とする。
マンゼブ水和剤 (ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤)	ジチオ カーバメート	400倍	○	
銅水和剤 (Zボルドー)	無機化合物	500倍	○	

※プロポーズ顆粒水和剤は、だいたいに作物登録を有するが、紫斑病の適用がない（2018.1.15 現在）。

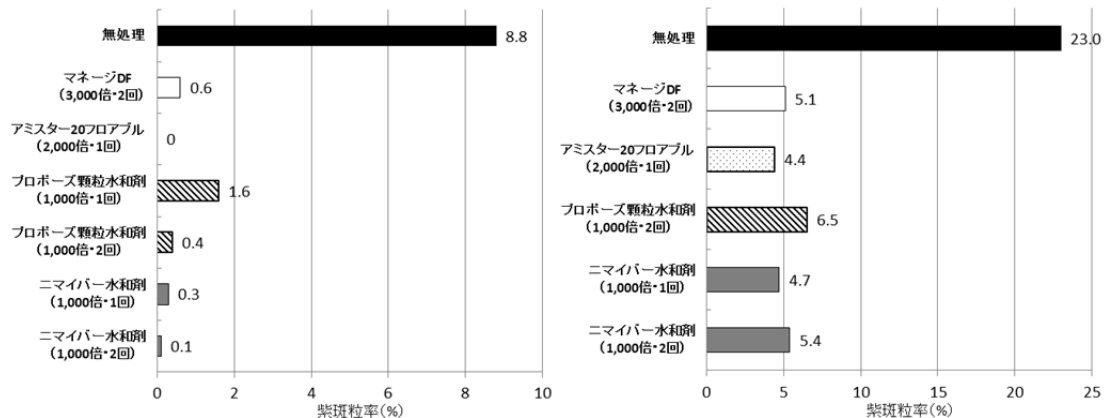


図1 各薬剤のダイズ紫斑病に対する防除効果（左：平成28年度、右：平成29年度）

【2 留意事項】

- (1) ダイズ紫斑病に対する防除適期は概ね開花20～40日後（若莢期～子実肥大期）です。1回散布の場合の防除適期は開花25～35日後としてください。
- (2) 耐性菌の発生を回避するため、アゾキシストロビン水和剤は2～3年に1回の使用としてください。

担当研究室 環境部 病理昆虫研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL: 0197-68-4424 FAX: 0197-71-1085